



※この動画について

- この動画は、2014年に作成したパワーポイント資料を元に、少し改変して音声をつけただけのものです。
- 「要約筆記」の用語説明はありません。知らない方は、すみませんが自分で調べて下さい。
- 急に思い立って作ったので字幕はありません。ただし、内容はほとんど文字で出ているものと同じです。
- 時間ができたら改良版を作る…かもしれません（予定は未定）



1. 情報保障つきバス旅行とは？

- ① バス車内では車載テレビで見るパソコン文字通訳（パソコン要約筆記）
- ② 目的地では、現地の方による視覚情報を増やした「おもてなし」（案内・説明）
- ③ 車外での質疑その他は手書き要約筆記、または筆談

考え方は色々だと思いますが、
ウチでは情報保障者も
一緒に飲食を（お酒も含め）
楽しみたいので



派遣ではなく、参加者としての「ボランティア」

2. 思いついたきっかけ（発案者談）

- 「家庭用100ボルト電源が使えるバス」が少しずつ増えている、と聞き、
- 「それなら、バス車内で、パソコンによる情報保障ができるのでは」と思い、
- バス会社に問い合わせ、「可能」と分かった。



「家庭用電源が車内で使えるバス」



3. 難聴者にとっての団体旅行

難聴者が楽しめる旅行が少ない。
特に車内では孤独になりがち。

- a. バス旅行の場合、車内でバスガイドが色々説明するが、それが聞こえない。
- b. 他の参加者との雑談も難しい（筆談も車酔いしやすい）ため、寂しく、つらく感じる。



4. 情報保障 (①バス車内編)

◆車内でのパソコン情報保障に必要な条件

- 2台以上の車載テレビがある
- 映像デッキに入力端子がある
- 電気容量に余裕がある
- マイクを客全員に回せる (2本以上推奨)



a. 2台以上の車載テレビがあること



後方の座席からも見えるように

b. 映像デッキに入力端子があること



現時点ではビデオ端子 (RCA黄色) が多い

c. 電気容量に余裕があること

車内での情報保障に使うノートパソコン (SSD搭載)

※入力用 2台、表示用 1台 全て省電力タイプ



車内は揺れるので、
駆動部のないSSD推奨

c. 電気容量に余裕があること

パソコン情報保障に必要な機材と消費電力の例

機材名	台数	備考	消費電力
ノートPC	3台	入力用2、表示用1 (全てSSD搭載機)	40W × 3 =120W
スキャン コンバータ	1台	VGA→RCAに 解像度を落とす	2.5W
Hub or ルータ	1台	USB電源タイプ	2.5W

c. 電気容量に余裕があること

- 各機材の「最大消費電力」は、取扱説明書やパッケージなどに書いてあるので、自分で計算できます。
- バスで使える最大消費電力は、車体により違うので、ご利用のバス会社さんにお問い合わせのうえ、ご確認ください。

d. マイクを客全員に回せること



自己紹介等、全員でおしゃべりを楽しむためには、車内に2本以上あると良い

5. うまくいくコツ（車内編）

～全員が「情報保障で楽しむ」意識～

- ① 「発言時はマイクを持つ、名乗る」を徹底
- ② 「要約しない筆記」ダジャレ大歓迎！
- ③ 情報保障が追い付かない時は待ってもらう
- ④ 聞き取れない時も遠慮なく「もう1度！」
- ⑤ 個人間の雑談は筆談
(ミニホワイトボード持参)



6. 情報保障（②車外編）

◆車外での情報保障や資料の工夫

- a. 目的地の説明は、極力、現地の方に視覚情報（プリント等）を工夫してもらう
- b. 質疑などその場でのやり取りは、大判ホワイトボード（B4～A3）で手書き要約筆記
- c. 映像資料は字幕を付けてもらうよう依頼（無理なら許可を得て自分たちで付けたり文字起こししたものを参加者に配布）

a + b. 見てわかる資料 + 要約筆記



現地案内人等の横で手書き要約筆記

7. うまくいくコツ（目的地編）

～事前の根回し・下見をがんばる～

- ① 「聞こえない人が多いので、目で見てわかりやすい資料や説明をお願いします」
- ② 下見に行く（事前にパンフをもらう、説明方法に配慮をお願いするなど）
- ③ 他での情報保障の写真を見せると、具体的なイメージを持ってもらいやすい
- ④ 「ながら見」は難しいので、見学などは少し長めの時間設定にもらう

簡単ですが、以上です

ご清聴
ありがとうございました

